

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 私利私欲が表に出ると会社は潰れる 樋口 武男 (大和ハウス工業会長兼 CEO)

1. 我々が非常に大切にしている創業者の教えがあります。それは、「儲かるから」ではなく、「世の中に将来必要とされるか」の視点で事業を考えろというものです。不思議なもので、この視点に立った商品を開発すると、結果として事業として成り立ちます。「儲かるから」と言う動機で始めると、大抵はうまくいきません。
2. リーダーたる者には 4 つの力が必要です。先見力、判断力、統率力、そして人間力。この人間力が一番難しい。後ろ姿で部下を引っ張れる力で、俗に言うオーラです。「おまえ、俺にオーラを感じてくれ」と言って感じられるものではありませんが、人間的魅力がないと部下はついてきません。
3. 松下幸之助さんが晩年に講演された言葉も心に残っています。「私はこの年になっても、会社で大きな影響力を持っています。影響力を持つ人間は毎日、私利私欲を抑えるために葛藤しないとイケない。私利私欲が表に出てくると、会社は潰れます」と。私はこれまでいろいろな会社を見てきましたが、潰れる会社は、トップに立つ人間に「俺が、俺が」というのが多い。自慢話が多い。後ろにふんぞり返って、そして後ろに倒れてしまう。  
(参考:「日経ビジネス」2012年8月6日・13日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 事業は社員が知恵を出し合うこと

#### 石原 進 (JR九州会長)

1. 事業は社員が知恵を出し合うことが大切です。皆がそれぞれの持ち場で、どうしたらお客様のためになるかを真剣に考えることが、収益の種になるのです。社員の意識を高め、創意工夫の湧き出ずる職場にすることが、会社を伸ばすことにもつながっていくと思います。
2. 並行して 5S (整理・整頓・清掃・清潔・接遇) の徹底をします。するとお客様から好感を持たれていい反応が得られる。社員も嬉しくなるから余計一生懸命にやるようになる。こういう好循環が生まれるわけです。

(参考:「致知」2012年10月号)

## 心・健康・環境について

### ちょっとした工夫で不眠解消

1. どうすれば快眠が得られるのか。近年、睡眠の研究が進んでいる。死亡率が最も低いのは 7 時間睡眠だ。抑うつ状態になりにくいのは 6~7 時間、糖尿病や高血圧によいのは 7 時間台、高脂血症によいのは 6 時間の睡眠となっている。
2. 睡眠障害に対処する方法は次の通りである。(1) 就寝 4 時間前のカフェインは避ける。(2) 眠たくなってから床に就く。(3) 同じ時刻に毎日起きる。(4) 寝る前は、暗い照明、目覚めたら日光を浴びる。(5) 規則正しい 3 度の食事と運動を。(6) 昼寝をするなら午後 3 時前の 20~30 分。(7) 睡眠薬代わりの寝酒は不眠のもと。(8) 睡眠薬は医師の指示で使えば安全。  
(参考:「週刊ダイヤモンド」2012年7月28日号)

## 古典に学ぶ

### 結果を出すことより、自分の本分を尽くすことを考えよ

「事業経営に利益を希望するのは当然である。されどその結果ばかり着眼せず、まず己れの本分をつくすことを目的として、事に従うべきものである」

(解説) 事業を起こすからには、利益を望むのは当然のことだ。しかし、利益の多寡ばかりに目を向けてはいけぬ。自分の力をすべて発揮しつつ、まずはそのことを目標にして、経営を行うべきである。  
(参考: 渋澤健「渋沢栄一 100 の訓言」: 日経ビジネス人文庫)